京都先端科学大学
卒業生調査結果（2023 年度）

【調査概要】

調査目的：教育改善に資する基礎データの取得。学位プログラムを修了した本校の卒業生が、実際に「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得に資するものであったか、身に付けた資質・能力が進学先や就業先でどのように役立っているか等を明らかにし「学修成果・教育成果の把握・可視化」の一つの客観的データとする。

調査対象：卒業生 2 世代(2018 年度卒、2020 年度卒)

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査期間：2023 年 8 月 9 日～2023 年 8 月 31 日

【回答結果】

回答者属性

発送数：1366 人（但し、未達 93 人）

延べ回答者数　261 人

集計対象数：201 人

実質回収率：15.7%（201／1273）

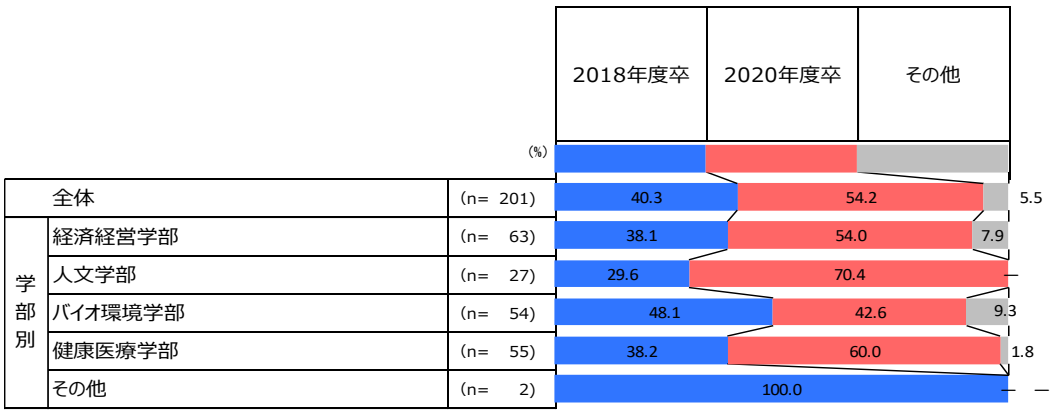
卒業年度別	人数
2018年度（2019年３月卒）	81
2020年度（2021年３月卒）	109
その他（※）	11
合計	201

性別	人数
男性	119
女性	81
その他（※）	1
合計	201

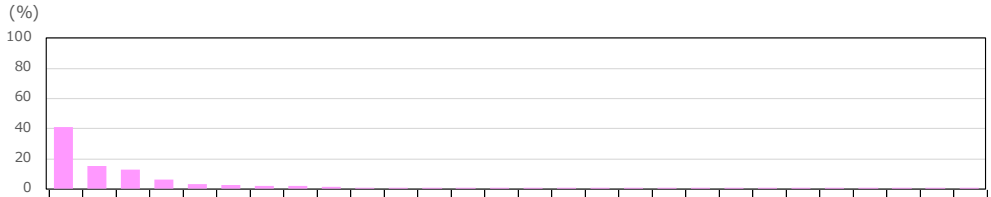
学科別	人数
経済経営学部　経済学科	26
経済経営学部　経営学科	37
人文学部　心理学科	12
人文学部　歴史文化学科	15
バイオ環境学部　バイオサイエンス学科	20
バイオ環境学部　バイオ環境デザイン学科	17
バイオ環境学部　食農学科	17
健康医療学部　看護学科	32
健康医療学部　言語聴覚学科	2
健康医療学部　健康スポーツ学科	21
その他（※）	2
合計	201

※その他は回答者本人の自己申告による

Q.卒業年度



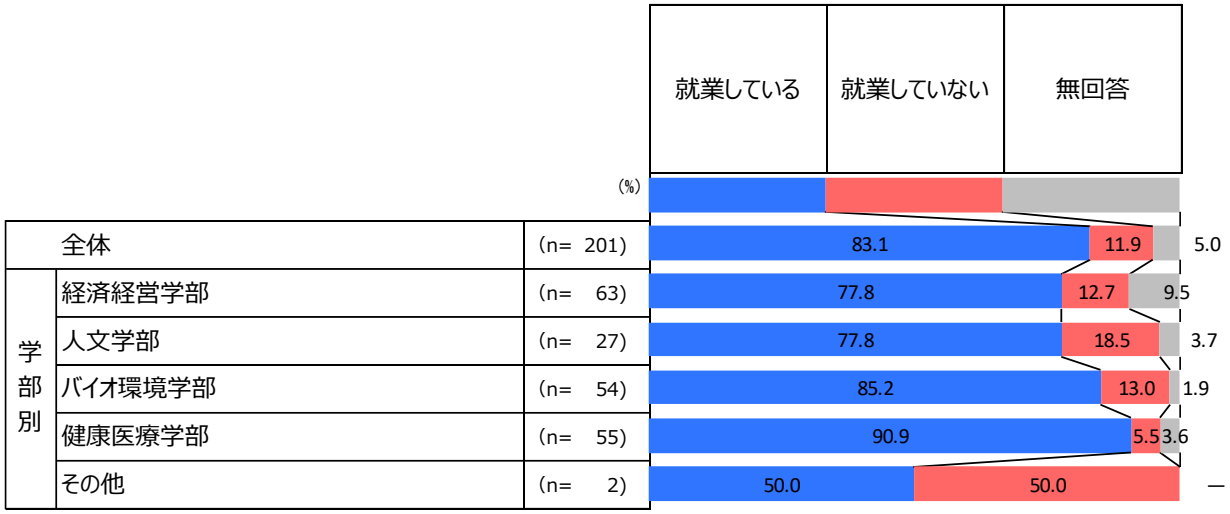
Q.居住地



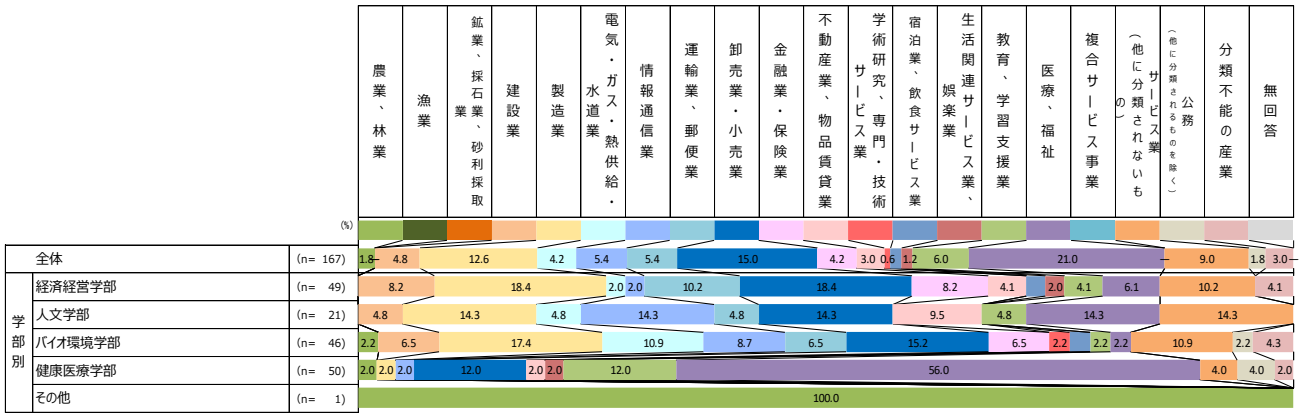
n≧30の場合
50.0 全体＋10ポイント以上
50.0 全体－10ポイント以下

		(n=)	京都府	大阪府	滋賀県	兵庫県	奈良県	千葉県	岐阜県	愛知県	埼玉県	群馬県	富山県	山梨県	徳島県	高知県	福岡県	沖縄県	秋田県	東京都	石川県	福井県	長野県	三重県	和歌山県	島根県	岡山県	広島県	香川県	愛媛県
全体		(n= 201)	41.3	15.4	12.9	6.0	3.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
学部	経済経営学部	(n= 63)	58.7	6.3	20.6	1.6	1.6	1.6	－	3.2	－	－	－	－	－	－	1.6	－	1.6	－	－	1.6	－	－	－	－	－	1.6	－	－
	人文学部	(n= 27)	33.3	14.8	11.1	7.4	－	3.7	3.7	－	－	3.7	－	3.7	7.4	7.4	－	3.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	バイオ環境学部	(n= 54)	25.9	25.9	13.0	7.4	5.6	－	3.7	－	1.9	－	3.7	1.9	－	－	－	－	－	－	－	－	1.9	3.7	1.9	－	－	－	1.9	1.9
	健康医療学部	(n= 55)	41.8	16.4	3.6	9.1	3.6	5.5	1.8	3.6	3.6	1.8	－	－	－	－	1.8	1.8	－	－	1.8	－	－	－	－	1.8	1.8	－	－	－
	その他	(n= 2)	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

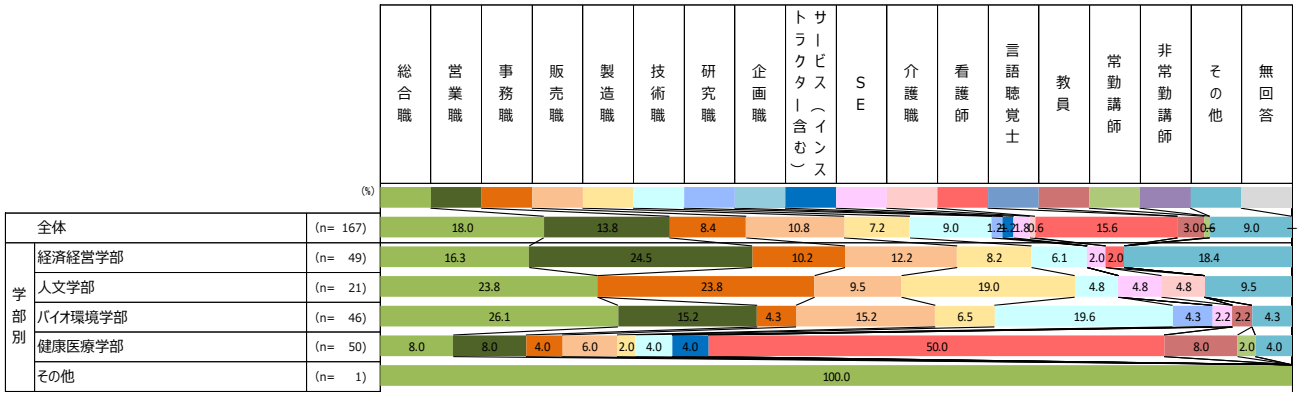
Q.現在、就業していますか（雇用形態は問いません）



Q.勤務先の業種

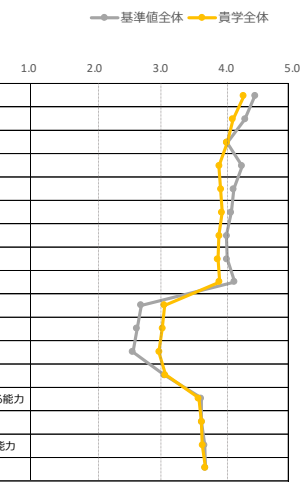


Q.現在の職種



社会で必要な能力と大学で身につけた能力（必要度と修得度）

Q. 必要度：社会で必要な能力



上位2項目
下位2項目

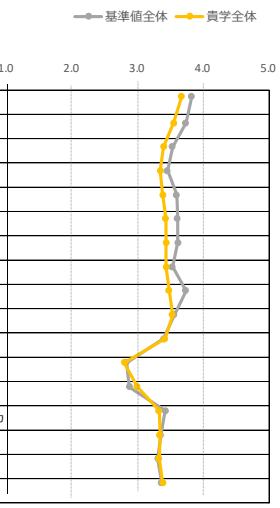
				平均値							
				貴学全体	経済経営学部	人文学部	バイオ環境学部	健康医療学部	その他	基準値全体	基準値全体と貴学全体の差
				N=201	N=63	N=27	N=54	N=55	N=2	N=1548	
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	Q7-1. 他者との豊かな関係を築く能力	4.24	4.22	4.26	4.11	4.36	5.00	4.42	-0.18
		協働力	Q7-2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	4.08	4.05	3.93	3.98	4.27	4.50	4.27	-0.19
		統率力	Q7-3. 場を読み、組織を動かす能力	3.99	3.94	3.93	3.98	4.05	5.00	3.99	0.00
	対自己基礎力	感情制御力	Q7-4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	3.87	3.70	3.96	3.87	4.00	4.50	4.22	-0.35
		自信創出力	Q7-5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	3.90	3.87	3.89	3.91	3.93	4.00	4.09	-0.19
		行動持続力	Q7-6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	3.92	3.94	3.63	4.00	3.95	4.50	4.06	-0.14
	対課題基礎力	課題発見力	Q7-7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	3.88	3.89	3.59	3.94	3.89	5.00	3.98	-0.11
		計画立案力	Q7-8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	3.86	3.79	3.89	3.93	3.85	3.50	3.99	-0.14
		実践力	Q7-9. 目標達成に向け、実践行動する能力	3.88	3.87	3.78	3.93	3.85	5.00	4.11	-0.23
大学での学修		専門知識	Q7-10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.04	2.84	2.70	2.91	3.53	4.50	2.69	0.36
		一般教養	Q7-11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.01	2.83	2.78	2.98	3.31	4.50	2.63	0.38
		外国語能力	Q7-12. 外国語を使う能力	2.96	2.83	2.85	2.89	3.18	4.50	2.56	0.40
		データサイエンス能力	Q7-13.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	3.05	2.95	2.81	3.13	3.16	4.50	3.04	0.01
リテラシー		情報収集力	Q7-14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	3.56	3.60	3.33	3.63	3.53	4.50	3.60	-0.04
		情報分析力	Q7-15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	3.61	3.63	3.44	3.59	3.62	5.00	3.61	0.00
		課題発見力	Q7-16.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	3.62	3.57	3.52	3.63	3.67	5.00	3.65	-0.03
		構想力	Q7-17.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	3.66	3.62	3.48	3.69	3.73	5.00	3.67	-0.01

○全　　体：　最も必要度が高いのは「親和力」、次いで「協働力」。

最も必要度が低いのは「一般教養」、次いで「外国語能力」

○基準値との比較：　「一般教養」、「外国語能力」が基準値よりも高く、「協働力」、「感情制御力」、「自信創出力」、「実践力」が基準値よりも低い。また、コンピテンシーの必要度が基準値より低い傾向がある。

Q. 修得度：大学で身につけた能力



上位2項目
下位2項目

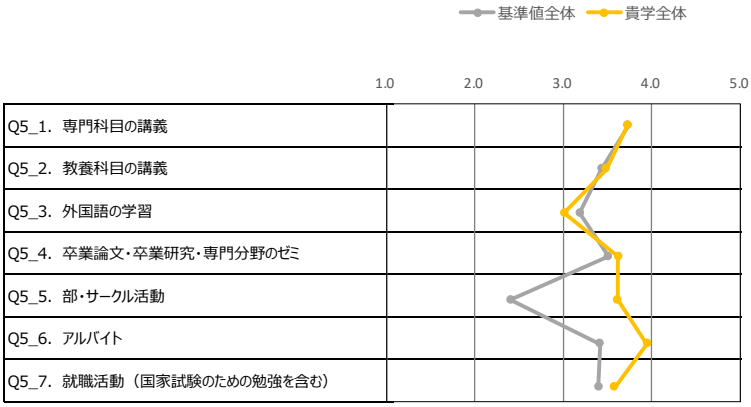
				平均値							
				貴学全体	経済経営学部	人文学部	バイオ環境学部	健康医療学部	その他	基準値全体	基準値全体と貴学全体の差
				N=201	N=63	N=27	N=54	N=55	N=2	N=1548	
コンピテンシー	対人基礎力	親和力	Q7-1. 他者との豊かな関係を築く能力	3.67	3.38	3.78	3.70	3.87	4.50	3.82	-0.16
		協働力	Q7-2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	3.55	3.29	3.59	3.63	3.71	4.50	3.73	-0.18
		統率力	Q7-3. 場を読み、組織を動かす能力	3.39	3.33	3.26	3.37	3.51	4.50	3.53	-0.13
	対自己基礎力	感情制御力	Q7-4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	3.34	3.10	3.22	3.35	3.62	5.00	3.45	-0.10
		自信創出力	Q7-5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	3.38	3.25	3.22	3.35	3.60	4.00	3.59	-0.21
		行動持続力	Q7-6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	3.42	3.24	3.44	3.43	3.56	5.00	3.60	-0.18
	対課題基礎力	課題発見力	Q7-7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	3.43	3.38	3.30	3.44	3.49	5.00	3.61	-0.18
		計画立案力	Q7-8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	3.43	3.25	3.33	3.44	3.64	4.00	3.52	-0.10
		実践力	Q7-9. 目標達成に向け、実践行動する能力	3.48	3.27	3.41	3.43	3.75	5.00	3.73	-0.25
大学での学修		専門知識	Q7-10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	3.53	3.17	3.67	3.54	3.80	5.00	3.55	-0.03
		一般教養	Q7-11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能	3.41	3.29	3.41	3.35	3.55	5.00	3.39	0.02
		外国語能力	Q7-12. 外国語を使う能力	2.79	2.79	2.96	2.69	2.76	4.00	2.82	-0.03
		データサイエンス能力	Q7-13.数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	2.99	2.90	2.81	3.22	2.89	4.50	2.87	0.12
リテラシー		情報収集力	Q7-14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	3.32	3.19	3.26	3.39	3.40	4.50	3.42	-0.09
		情報分析力	Q7-15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力	3.33	3.22	3.26	3.33	3.45	4.50	3.35	-0.02
		課題発見力	Q7-16.現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力	3.32	3.11	3.37	3.44	3.38	4.50	3.30	0.02
		構想力	Q7-17.さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	3.38	3.24	3.26	3.46	3.47	4.50	3.36	0.02

○全　　体：　最も修得度が高いのは「親和力」、次いで「協働力」。

最も修得度が低いのは「外国語能力」、次いで「データサイエンス能力」

○基準値との比較：　「自信創出力」「実践力」が基準値よりも低い。修得度もコンピテンシーが基準値全体よりも低い傾向がある。

Q. 大学時代の取り組み姿勢・熱心度



上位2項目
下位2項目

	平均値							
	貴学全体	経済経営学部	人文学部	バイオ環境学部	健康医療学部	その他	基準値全体	基準値全体と貴学全体の差
	N=201	N=63	N=27	N=54	N=55	N=2	N=1548	
Q5_1. 専門科目の講義	3.72	3.33	3.93	3.93	3.84	4.50	3.73	-0.01
Q5_2. 教養科目の講義	3.48	3.22	3.59	3.69	3.49	4.50	3.43	0.05
Q5_3. 外国語の学習	3.01	2.90	3.37	2.92	3.04	3.00	3.19	-0.18
Q5_4. 卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ	3.62	3.07	3.67	3.98	3.78	4.00	3.50	0.11
Q5_5. 部・サークル活動	3.61	3.52	3.54	3.56	3.76	4.00	2.40	1.21
Q5_6. アルバイト	3.95	3.97	4.13	4.00	3.81	3.00	3.41	0.54
Q5_7. 就職活動（国家試験のための勉強を含む）	3.57	3.19	2.96	3.74	4.11	4.00	3.40	0.18

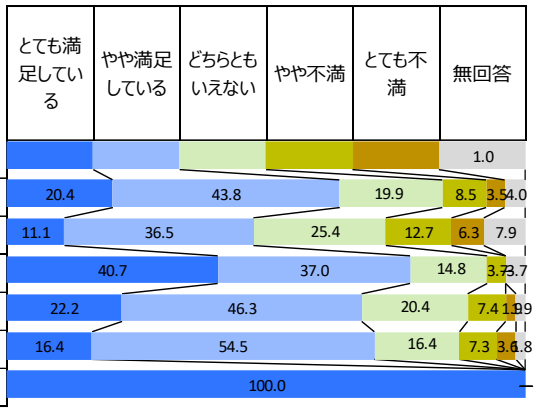
○専門科目、教養科目などによる学修、卒業研究やゼミなどは基準集団と比較しても遜色ないが、部・サークル活動、アルバイトなどの正課外での活動への取り組みが基準値を上回っていることが特徴としてあげられる。

重要なことは、大学生活の中で経験できること、対人関係の構築（友人だけでなく教職員を含む）や、卒業論文、卒業研究や専門ゼミ、討論等の学修体験、専門性を深める学修等を通じて、「<u>リテラシー領域、コンピテンシー領域などのジェネリックスキル（≒ポータブルスキル、学士力、社会人基礎力）も鍛えられる場面は多く存在する</u>」ということを教職員も学生も認識をし、さらに行動に移すことが大切である。

そのためには、「自分が何を通じてどのような能力が鍛えられているのか」を事前に把握して取り組み、チェックし、振り返り、改善に繋げていくことが重要な取り組みの一つである。その認識を高める方法として「振り返り」がもっとも効果的であるとも言われており、意図的に振り返りの機会を設定することも重要である。

大学生活に対する満足度

Q. 大学生活に対する総合的な満足度（複数回答）



			とても満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満	とても不満	無回答	満足している・計	満足していない・計
全体		(n= 201)	20.4	43.8	19.9	8.5	3.5	4.0	64.2	11.9
学部別	経済経営学部	(n= 63)	11.1	36.5	25.4	12.7	6.3	7.9	47.6	19.0
	人文学部	(n= 27)	40.7	37.0	14.8	3.7	3.7		77.8	3.7
	バイオ環境学部	(n= 54)	22.2	46.3	20.4	7.4	1.9	9	68.5	9.3
	健康医療学部	(n= 55)	16.4	54.5	16.4	7.3	3.6	8	70.9	10.9
	その他	(n= 2)	100.0						100.0	0.0

【総括】

今回の卒業生アンケート調査は、2018 年度以前に入学した卒業生が対象となったが、2019 年度以降の入学生を対象にして実施されている現行カリキュラムでは、汎用的能力修得の向上を目指して改革を行った（コンピテンシー修得を目指した科目の新設、英語教育の重点化、卒論の全学的な必修化など）。今後、現行カリキュラムで学修した卒業生を対象にしたアンケートを実施することで、汎用的能力の修得の改善状況について検討し、卒業生の満足度や推奨度を一層向上させていきたい。教育面については、自律した学生の育成や独自の魅力を持った教育を行うことが肝要であると思われる。

以上